

事務事業名	公園管理運営事業(指定管理外)		所属部局	建設部		単位番号	7078						
			所属課室	都市計画課		課長名	斉藤 貞文						
			所属担当	公園管理担当		担当者名	保坂 佳一						
基本政策	基本計画体系	Ⅲ	うるおいと利便性のある都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
		13	都市空間の整備			01	一般	08	04	04	040	07	
施策		21	安らぎ空間の整備		事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☒ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠			都市公園法、都市公園条例、農村公園条例							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載					事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)							
	1 事業の内容					項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
	市内160箇所の指定管理以外の公園の管理運営を行う事業。					報償費 525							
	2 事業費の内訳					消耗品 377							
	公園施設の管理運営(電気・水道料、管理委託費等)					光熱水費 2,244							
・都市公園 7箇所 ・農村公園 18箇所 ・その他公園 135箇所					施設維持管理委託料 22,039								
面積 48.5ha					計 25,185								

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	区管理公園の報償、施設や樹木等の管理委託、施設の光熱水費等
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民 公園利用者 該当となる公園	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
安心して利用でき、適正な管理運営がされる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市民が安全に安心して利用できる。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	アイウ	老朽化施設・遊具の数	基
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	アイウ	人口	人
		該当公園数	箇所
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	アイウ	市民の苦情の件数	件
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	アイ	公園や子供の遊び場に関する住民満足度	%

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	29,645	25,185	26,040	26,000	26,000			
		事業費計 (A)	千円	29,645	25,185	26,040	26,000	26,000	0	0		
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2			
			延べ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200			
			人件費計 (B)	千円	4,754	4,754	4,754	4,754	4,754	0	0	
	(A)+(B)			千円	34,399	29,939	30,794	30,754	30,754	0	0	
活動指標		アイウ	基									
対象指標		アイウ	人箇所	72,854.0	72,566.0							
成果指標		アイウ	件									
上位成果指標		アイ	%									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年度より、市内160箇所の指定管理以外の公園の維持補修を行う事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか？また、今後の予測は？	施設・遊具の老朽化による修繕が増加している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	施設・遊具の改修・修繕の要望が多い。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	施設の維持補修事業であり特段改革改善はない。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	公園管理運営事業(指定管理外)	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 安らぎ空間としての公園の推進が目的であり整合している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市の公園であり公共関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 安らぎ空間としての公園の維持補修であり維持・継続は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 公園施設の管理運営(トイレ、遊具、樹木等)の経常経費であり向上余地はないものと考えられる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☐ 休止・廃止ができる ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 危険箇所などを放置しておくことと安心して利用できない。 安らぎ空間の公園施設の維持修繕経費であり休止・廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 公園施設の管理運営(トイレ、遊具、樹木等)の経費であり削減余地はないものと考えられる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 担当者1名で他事業と合わせて行っており、削減する余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 安らぎの空間である、公園施設の管理運営(トイレ、遊具、樹木等)の経費であり公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	合併時に神社、境内地、公会堂の敷地内に遊具が1基でもあれば公園の指定をしたようだが、現状で公園の役割を終了した所は、速やかに廃止するべきである。区民が主に使用している公園は維持管理協定を区と協定を結び、区の責任で管理していただきたい。また合併前から一部の区へ報償費を支払い、それで公園の光熱水費等の支払いをしている地域も見受けられるので今後は正をしていかなくてはならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒	☐	低下	☐	☐	☐
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒	☐																		
	低下	☐	☐	☐																		
(2) 改革改善案について																						
① 地元へ管理移管する(アダプトプログラム等の導入) ② 再配置をして公園の見直しをする。 ③ 改善の受取り方、方法でコスト水準、成果水準は上下すると思われるが担当としてはコストを低く、成果を維持に目標に設定。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 地元市民の理解と協力	成果優先度評価結果																					
②	②																					
③	コスト削減優先度評価結果																					
	⑧																					